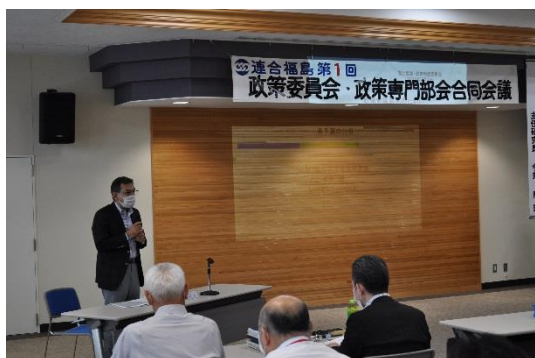


2020年度政策委員会・政策専門部会合同会議 7/2(木)

2020年度 政策制度要求に向けて

自治総研 今井 先生の特別講演を開催！！



主催者挨拶 今野 泰 連合福島会長

連合福島は、この程7月2日(木)14時15分から「2020年政策委員会・政策専門部会合同会議」を開催した。冒頭、今野 泰 連合福島会長からは『県内は、東日本大震災からの復興途上にあり、加えて昨年の台風被害の復旧もこれからの矢先に新型コロナ感染拡大は社会経済、そして私たちの日常に甚大な被害を及ぼしている。このような中、連合福島は「2020年の政策・制度の要求と提言」を取りまとめる上で、2020年の県予算の把握と復興予算の分析をしっかりと行うため、自治総研今井先生(福島大学元教授:以下 今井先生)の講演をお願いした。本日の講演を今後の議論を活かしていただきたい』と挨拶した。

第一部の特別講演では、今井先生より「政策制度要求のために一県予算の分析」と題して講演をいただいた。講演では過去10年間の福島県予算ならびに2020年福島県重点予算等のデータを分析。「2010年と比較して決算額が2倍程度、投資的経費も3倍程度になっている。」「特定目的基金も取り崩しているが、目的に合致した使われ方をしているか確認が必要。また、将来的に通常枠で支出すべき事業が復興枠で支出されている現状から、復興予算を消化するための事業になっていないかも確認していくことが重要。」との説明があった。講演終了後には、塩澤委員(電機連合福島地協)、坂路副会長(JAM南東北福島連絡会)、澤田委員(自治労



特別講演 今井 照 自治総研主任研究員

福島県本部)からそれぞれ質問頂き講演会を終了した。

第二部の専門部会毎の協議にも今井先生に入っていたいただいた。意見をいただいた第二専門部会 志賀部会長は、「今回、今井先生の講演の内容や様々なご意見をいただいた中で、新しい視点をいただいた。これらを参考としながら、今後の政策制度の提言が更に深掘りできるように活かしてまいりたい。」と話した。

今後、各専門部会は8月

20日までに、それぞれ3回程度の協議をすすめ、部会ごとの課題に応じた提言をまとめる。10年目を迎える震災復興や台風災害、新型コロナ対策など多くの課題を整理し、併せて、これまで頂いた様々な調査結果等を踏まえた政策制度の提言とする。



第二専門部会の様子 今井先生(中央)



第一専門部会の様子